

平成 26 年度 県民フォーラムチーム・コミュニケーションチーム合同検討会
(第 1 回・第 2 回) 結果概要

1 日時・場所

- 【第 1 回】 (日時) 平成 26 年 6 月 17 日 (火) 18 : 30 ~ 20 : 30
(場所) かながわ県民センター 12 階 第 1 会議室
- 【第 2 回】 (日時) 平成 26 年 7 月 30 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00
(場所) かながわ県民センター 12 階 第 1 会議室

2 出席委員

- 【第 1 回】 森本 正信、坂井 マスミ、金森 巖、北村 多津一、滝澤 洋子、
中門 吉松、西 寿子、前田 裕司、増田 清美
- 【第 2 回】 森本 正信、坂井 マスミ、金森 巖、北村 多津一、倉橋 満知子、
滝澤 洋子、中門 吉松、西 寿子、前田 裕司、増田 清美

3 概 要

第 1 回・第 2 回検討会では、平成 26 年度の県民フォーラム年間計画及び第 22 回・第 23 回県民フォーラムについて検討を行った。また、水源環境保全・再生施策の今後の広報展開について検討を行った。概要は以下のとおり。

(1) チームリーダーの選出について

県民フォーラムチームのリーダーとして森本委員、コミュニケーションチームのリーダーとして坂井委員が選出された。

(2) 平成 26 年度の県民フォーラム年間計画について

第 22 回県民フォーラムは 8 月 2 日 (土) に、西武小田原店 1 階キャニオン広場でもり・みずカフェ方式により実施。

第 23 回県民フォーラムは、11 月 9 日 (日) に川崎市の「川崎アゼリア」においてもり・みずカフェ方式により開催することが決定した。

第 24 回県民フォーラムは、3 月 22 日 (日) に横浜市の「横浜シンポジア」において講演会方式により開催することが決定した。

(3) 第 22 回県民フォーラム (もり・みずカフェ) について

企画内容について意見交換を行った。

- 説明する際には「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」を使う。
- 広報チラシを作って、小田原市を中心に配布する。夏休みに実施するので、子ども向けに自由研究の参考になることをアピールする。
- 会場レイアウトは、会場の中央に市民団体による体験コーナーを持ってきて、周り

に施策の説明コーナーを設ける。体験コーナーへの来場者を説明コーナーにも誘導し、会場全体の一体感を出す。

○アンケートは、あまり項目を多くせず、文字を大きくする。

(4) 第23回県民フォーラム（もり・みずカフェ）について

開催場所の候補としては、事務局より JR 川崎駅・京急川崎駅直結の地下街「川崎アゼリア」南広場を提案した。→川崎アゼリアで開催することに決定した。

○川崎の人に向けた広報パネル、資料を用意した方が良い。川崎の水源は多摩川ではないことが一目でわかる広報ツールが必要。

○どのような年齢層・客層が来る場所なのか、リサーチが必要。

○企画内容のアイデアは以下の通り。

- ・水源涵養の実験
- ・草笛の配布
- ・森の写真やシカ、クマのはく製を飾る。
- ・どんぐりを使ったクラフト教室
- ・竹とんぼの配布
- ・ヒノキやスギの枝を使ったリース作り
- ・わなげ

(5) 今後の広報展開について

水源環境保全・再生施策の今後の広報展開についての課題や広報手段について、意見交換を行った。

○電車内での映像広告の放映は効果があると思う。神奈中バスでも映像の放映ができる。

○市町村の環境展に行き、「しずくちゃん」と共に広報していった方が良い。

○映画館でCMを放送してみてはどうか。

○朝日新聞の湘南版はよく県の政策を掲載している。広告を載せてはどうか。

○あまり認知度の数字にとらわれすぎ無いほうが良い。いろいろな広報手段を講じていくことが必要。

○テレビ番組に売り込んでいった方がいい。テレビ局が関心を持つようなテーマをアピールできれば良い。